NPO 法人シアターネットワークえひめ　2020 年度活動報告

■□■　2020 年度事業報告（自：2020 年 4 月 1 日　至：2021 年 3 月 31 日）■□■

芸術文化に関する意識啓発事業

1）文化芸術に関する情報提供

県内及び全国各地の文化ＮＰＯや文化振興財団等が発行する舞台芸術等に関する広報誌・リーフレット・公演情報などをホームページ及び facebook、Twitter、シアターねこ、公共施設等にて紹介。
シアターねこと協働でシアターねこしんぶん（月１回）,メルマガ「ねこ通信」（月２回）を発行。YouTube チャンネル「シアターねこ」を開設。
しんぶんでは、「新型コロナウイルスを機に考えていること」など多くの方に参加していただいた。

http://tne-ehime.org/　　http://cttmatsuyama.jugem.jp/　　http://theaterneco.main.jp/

2）道後アートプロジェクト（DAP）

文化芸術促進をミッションとする複数の組織で構成している。
DAP 構成団体：㈱NINO、㈱BALANCE、NPO 法人カコア、NPO 法人シアターネットワークえひめ

（１）日比野克彦✕道後温泉　道後アート 2019・2020「ひみつジャナイ基地プロジェクト」

当 NPO は「ひみつジャナイギャラリー」の企画運営を担当。2019 年度に引き続き、道後地域のホテル・旅館や商店などに福祉施設や社会的支援を必要とする人たち 28 組の作品を展示。多彩な価値観に触れ、様々な人と出会う機会を提供。

① デジタルインフォメーション
② マッチングギャラリーでの展示
　山澤商店→沖野あゆみ展示
　道後の町屋→6 月大石涼展示開始　mayutamago 展示入替
　ひめや→橋本大二郎展示
　古湧園 遥→あいサポート展示
　振鷺亭→藤岡友美展示継続（大規模新作展示追加２回）
③ ストックギャラリー（山澤商店）
　メンテナンス→展示作品保護の保険加入,レプリカ製作
　6 月 展示作品追加　9 月～２月 アマビエ展示
　6 月 事業者向けレンタル事業開始　参加 17 人 48 作品
「蓮×そらいろのたね」「松下侑生×ユノマチベーカリー」
「山本好伸×愛ワーク」「沖野あゆみ×愛ワーク」
④ Ｔシャツギャラリー（絣屋）
　新作Ｔシャツの展示 15（内８枚販売　２枚販売実績）
⑤ YouTube 配信
　7/22「ひみつジャナイギャラリー」ライブトーク
⑥ ひみつジャナイ基地 6/20 オープン
　8/8～9/7　アマビエ展
　9/11～28　ひみつジャナイギャラリー・アーティスト「蓮・松下侑生 二人展」

（２）道後オンセナート 2018 の作品の継続公開

道後オンセナート 2018 の地元プロジェクトで製作した作品の投影を継続した。

山内知江子コマ撮りアニメーション製作投影

場　所　放生園からくり時計の後のビルに投影

●「八百万」　※道後温泉をモチーフに製作。

期　間　2018/2/5～2021/2/末

3）ことばのちから 2020「ことば×アート」（松山市より受託）

主　催　　松山市、ことばのちから実行委員会

制作・運営　NPO 法人シアターネットワークえひめ

企画協力　　松山ブンカ・ラボ

① ことばのインスタレーション「かえりみちをつくる」

牛山光太郎（美術家）

展　示　2020 年 10 月 25 日（日）～11 月 29 日（日）

会　場　三津浜アート蔵/旧濱田医院/松山アーバンデザインセンター

料　金　無料

ワークショップ　2020 年 11 月 14 日（土）、11 月 15 日（日）

会　場　木村邸

② ことばのミュージアム

上田 假奈代（NPO 法人こえとことばとこころの部屋、詩人）

瀬尾 夏美（アーティスト）・鈴木 育郎（写真家）

●ことばをテーマにした絵画・ドローイング（瀬尾夏美さん）、写真（鈴木育郎さん）を封入。

●手に取った人が自由に作品に名前を付けることができるよう、無地のキャプションを同封。

●詩人の上田假奈代さんが、言葉と身体をテーマに、1 回目はタラヨウの葉をテーマにした詩を封入。
　2 回目は 50 年後に公開するお悩み相談を封入。

●詩人の上田假奈代さんが、ことばの多面的な側面に光を当てる手紙（エッセイ）を作成。

芸術文化に関する人材育成事業

1）多田淳之介ワークショップ

日常的な会話を題材にコミュニケーションについて考え、演技とは何かという基本的なところから始め、戯曲のセリフをどう発するか、演出とは、観客との関係など、東京デスロックの手法を体験しながら、演劇に何ができるのかを一緒に発見していくワークショップを開催。

日　時　2021 年 1 月 30 日(土) 19:00～22:00

　　2021 年 1 月 31 日(日) 13:30～16:30

場　所　シアターねこ

講　師　多田淳之介（演出家・東京デスロック主宰）

料　金　3,000 円（二日間）

参加者　16 人

2）Ｃ.Ｔ.Ｔ.（現代演劇訓練）の取組

2011 年の 3 月から開始した C.T.T.（現代演劇訓練）を開催。参加者やスタッフの交流を毎回深めている。新型コロナ感染拡大予防のため、交流会は短時間で実施した。C.T.T.松山 vol.26 は 12/19,20 に開催予定であったが、東京からの出場者の参加を見送ったため、開催延期となった。

（１）C.T.T.松山の開催　会場：シアターねこ

①　VOL.25

日　時　2020/8/29 日（土）18:30　8/30（日）13:30

人　数　31 人

上演協力金　一般 1,000 円　　生徒 500 円

上演作品（上演後合評会）

・演劇ユニットそなえ　「このなかで」作・演出：今木瑛之

・fwtp(フワトピ)　「見えない点と聞こえない線」
作：木村菜七　演出：fwtp(フワトピ)

・SCHOP PROJECT「受付」　作：別役実　演出：高山力造

３）「四国劇王Ⅷ」代表決定戦

2012 年に日本劇作家協会東海支部と長久手文化の家が主催する劇王 X に四国４県の代表を送り出したのをきっかけとして、2014 年より四国の短編演劇祭として「四国劇王Ⅱ」をスタート。事前の戯曲審査では、12 人から短編戯曲が寄せられ、8 作品を選出し予選と決定戦を実施。

四国劇王は、作品の優劣を競うだけが目的ではなく相互に作品発表の場を共有し切磋琢磨し、交流しあう場として継続している。作品の内容、形式は問わない。それらを審査員と観客が作家性を重視しつつも総合的に判断し四国劇王を選出する。A チーム選出・B チーム選出・七代目四国劇王の行正忠義氏（シャカカ・高知）が決定戦を戦い、行正忠義氏（シャカカ・高知）が八代目四国劇王に決定した。JAPAN LIVE YELL project の一環で実施。文化庁文化芸術活動の継続支援事業を活用した。

（１）戯曲審査

締　　切　2020 年 8 月 31 日

戯曲審査員　佃　典彦氏　はせひろいち氏

応　　募　12 人（8 作品を選出）

（２）四国劇王Ⅷ代表決定戦

日　時　2020 年 12 月 5 日（土）・12 月 6 日（日）

場　所　シアターねこ

審査員　佃 典彦(劇作家、演出家、俳優、劇団Ｂ級遊撃隊主宰)
岸田國士戯曲賞受賞、読売演劇大賞優秀作品賞
はせひろいち(劇作家、演出家、劇団ジャブジャブサーキット代表)
劇作家協会新人戯曲優秀賞受賞等
鈴江俊郎（劇作家、演出家、Office 白ヒ沼代表、上品芸術演劇団）
岸田國士戯曲賞受賞、文化庁芸術祭大賞

司　会　杉山田スギオ

料　金　一般 1,500 円（当日 2,000 円）学生 1,000 円（当日 1,500 円）
予選(2 回)+決定戦 一般 3,500 円(当日 4,000 円)学生 2,500 円(当日 3,000 円)

参加者団体　９グループ

人　数　204 人（来場者　155 人・参加団体 36 人・スタッフ他 13 人）
来場者　Ａチーム 57 人　Ｂチーム 46 人　決定戦 52 人

内　容

・12 月 5 日（土）18：30　Ａチーム
西浦真弓（徳島県）「虹の向こう」
岡田敬弘（香川県）「レア虫を見つけて」
玉井江吏香（愛媛県）「慈雨と言え」
伊豆野眸（愛媛県）「泥の間」

・12 月 6 日（日）11：00　Ｂチーム
木邨明恵（愛媛県）「夜間取引」
丸山裕介（徳島県）「なにもかけてない」
大木茂実（徳島県）「光射す蝉」
オカザキケント（高知県）「笑手道」

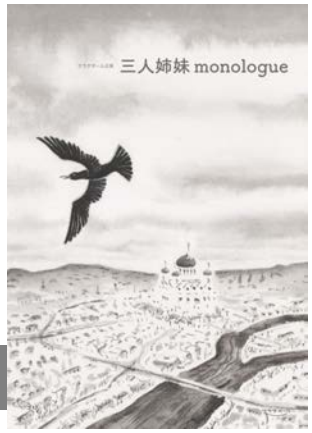
・12 月 6 日（日）15：30　決定戦
Ａチーム１位　伊豆野眸（愛媛県）「泥の間」
Ｂチーム１位　丸山裕介（徳島県）「なにもかけてない」
七代目四国劇王　行正忠義（高知県）
「そんなことだから、僕のすね毛は凍る。」
八代目四国劇王は行正忠義（高知県）が獲得

（３）四国劇王Ⅷ交流会
日　時　2020 年 12 月 6 日（日）19:30
場　所　和光会館１-E
参加者　51 人（審査員、出場団体関係者、事務局）

芸術文化に関する鑑賞機会提供事業

(１) 共催公演事業

① 広田ゆうみ＋二口大学　作：別役実「眠っちゃいけない子守歌」
主　催　広田＋二口企画
日　時　2020/8/7（金）　19:30
2020/8/8（土）　14:00 / 19:00
料　金　一般：2,500 円　U-26：1,000 円
会　場　シアターねこ



② サラダボール「三人姉妹 monologue」
主　催　一般社団法人アトリエ・サラダ
日　時　2021/3/6（土）14:00／19:30
2021/3/7（日）14:00
料　金　一般：2,500 円　U25：1,500 円　高校生以下：無料
会　場　シアターねこ

芸術文化に関する創造空間整備事業

1）「シアターねこ」との連携・協働

シアターねこは、「第 11 回地域再生大賞―コロナ禍を越えて」（地方新聞 46 紙、共同通信社主催）において優秀賞を受賞した。開館した 2012 年 5 月から、企画運営を連携・協働し、演劇・ダンス・音楽・漫才・落語・映画上映・ワークショップなど、地域における作品発表の機会を提供し、芸術文化の振興を推進している。

新型コロナの影響を受けて公演が激減し、4 月～7 月の公演は、ほぼ中止。小劇場エイド基金及び全国小劇場ネットワークのクラウドファウンディングへの参加、独自の寄付の募集（シアターねこサポーターズ）、助成金への応募などで財源を確保した。また、新型コロナ感染予防対策として、壁の一部を窓に戻し、空気清浄機や静音型換気扇を設備、さらに LED 蛍光灯も設備し、安心して過ごしやすい劇場空間を整備した。

芸術文化に関する連絡調整・調査研究・政策提言事業

地域の芸術文化のソフト（情報やネットワークづくり）とハード（拠点づくり）の基盤形成を図り、創造性豊かな地域コミュニティを形成する事業を文化芸術関連団体と協働して実施。

芸術文化に関する教育普及事業

2020 年度は、文化庁より「障害者支援施設へのｱｰﾃｨｽﾄ派遣と障がいのある人との表現活動促進事業」を受託し、ファシリテーター養成講座プログラムおよび障がい者支援施設へのアーティスト派遣プログラムを実施した。ファシリテーター養成講座プログラムでは、障がいのある人との表現活動に興味を持っている方々、とくに障がい者支援に関わる方々に受講を呼びかけて、受講者とアーティストがともに障がいのある人との表現を考えていく時間を紡いだ。

アーティスト派遣プログラムでは、障がいのある人との表現活動の実践によるモデルづくりを目指した。松山盲学校ドリームラジオでは、地元アーティストが児童生徒全員とラジオ番組を製作。就労継続支援 B 型事業所「風のねこ」への派遣では、精神障がい者の幻聴幻覚を描いたカードをもとに、精神障がい者の表現活動を模索した。

1）ファシリテーター養成プログラム

（1）障がい者との表現活動のあり方を考える
―理解を深めようー

日　程　2020 年 12 月 21 日・22 日　19:00～21:00
場　所　シアターねこ
講　師　有門正太郎（俳優・演出家・劇作家）
料　金　500 円　※オンライン参加無料
人　数　延 16 人
内　容　受講理由や障がい者に接する上で抱えている課題などを共有。音楽を聴いて頭に浮かんだことを言葉で表現するワーク、ジェスチャーゲームなど紹介。

（2）障がい者とつくる演劇　ー実践例を知ろうー

日　程　2021 年 1 月 20 日・21 日　19:00～21: 00

場　所　シアターねこ
講　師　永山智行（演出家・劇作家）
料　金　500 円　※オンライン参加無料
人　数　延 46 人
内　容　「みやざき◎まあるい劇場」で障がいのある方とともに創作した演劇の事例、身体を使う簡単なワークやセリフを使ったワークなど紹介。コミュニケーションの基本の解説。

2）アーティスト派遣プログラム

（1）松山盲学校ドリームラジオ

地元アーティスト　Hanbun.co（映像／カラダ／音楽／舞台美術）
・・・山内知江子（チェコアニメ作家）との得居幸（ダンサー・振付家）によるパフォーマンスユニット
コーディネーター　戸舘正史（松山ブンカ・ラボ ディレクター）
アーティストスタッフ　松宮俊文（松山ブンカ・ラボ）
アドバイザー　　有門正太郎（演劇）
　参加者　松山盲学校の全校児童生徒 13 人
　（小学校 6 年生から高校 3 年生まで）+先生方
　場　所　松山盲学校
第 1 回「互いを知ることからはじめよう！」
　日　時　2020 年 11 月 11 日 (水) 13:30～15:00
第 2 回「(睡眠中に見る)夢を語ろう！」
　日　時　2020 年 12 月 17 日 (木) 13:30～15:00
第 3 回「ラジオ番組をつくろう！」
　日　時　2021 年 3 月 9 日 (火) 9:30～12:00

（2）精神障がい者の表現を考える

就労継続支援 B 型事業所風のねこの利用者が作成した幻聴幻覚カードをもとに、当事者の一人よりヒアリングを行い、朗読という手法で表現を試みた。今後、幻聴幻覚カードを活用し、様々な手法による表現活動をアーティストと模索予定。
　日　程　2021 年 1 月 28 日（木）10:00～12:00
　場　所　シアターねこ・風のねこ
　講　師　有門正太郎（俳優・演出家・劇作家）
　参加者　3 人 (アーティスト1人・利用者1人・スタッフ1人)

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

1）「就労継続支援 B 型事業所　風のねこ」の運営

障害者総合支援法等関係法令の理念に則り、障がいのある方の自立と社会経済活動への参加を促進するために、主に精神障がいのある方への就労支援を目的とした就労継続支援 B 型事業所「風のねこ」を運営した。通所による就労や生産活動及び施設外就労（物語カフェ かまどねこ）の機会を提供するとともに、必要なサービスを適切に行った。
・所在地：松山市緑町 1－2－1　シアターねこ 2F

・開所日とサービス提供時間：月曜～金曜　9：30～15：30
・利用対象者：主に精神障がい者
・2020 年度登録者 27 人

《作業内容紹介》
・「物語カフェ かまどねこ」でのカフェ作業（施設外就労）
・缶バッヂ製作(シトラスリボン、アマビエ他)
・圓満寺お結び玉づくり
・手作り品（編物など）
・幻聴幻覚カードの製作　他

《愛媛県障がい者アートサポートセンター講師派遣》
・10 月 7 日・14 日・21 日　参加者延べ 23 人
講師：富久氏による張子づくりを体験
《毛糸アクセサリーワークショップの開催》
・3 月 31 日　参加者 6 人
講師：小田山氏(株 MIDORIYA の和泉さんの紹介)
《障がい者アート展に出展》
・12 月 3 日～13 日　愛媛県美術館新館にて展示
・参加者：6 人
《幻聴幻覚カードによる表現活動》
・風のねこで製作している幻聴幻覚カードを活用した表現活動を模索。有門正太郎氏(俳優)に風のねこ利用者が、カードの説明後互いに朗読を実施。次年度より具体的な表現活動を予定。
《助成》
・8 月：愛媛県共同募金会の助成により移送用車両を購入
・10 月：伊予銀行社会福祉基金より作業用椅子 15 脚受贈
10 月 9 日：伊予銀行さんによる贈呈式　風のねこにて

2）福祉と芸術文化を融合した事業

利用者の方々の特性に柔軟に対応し、個性を活かせる就労となることを目指しており、多様なアートに触れることのできる「風のねこ」ならではの作業内容、レクリエーションの種類、利用者の方々に参加いただけるコミュニケーションワークショップ、朗読ワークショップ等を適宜実施している。
・幻聴幻覚カードの製作　・利用者のスタ☆タン Z in 松山への出場　・障がい者アート展への参加
・希望者にシアターねこで開催される公演のリハーサルの見学などの機会提供

その他目的のために必要な事業

1）舞台芸術関係団体への協力

（1）松山学生演劇コミュニティへの協力

四国学生演劇祭実行委員会の学生有志が中心となり、四国の大学生・高校生対象としたワークショップや交流会などの開催を通して、松山市周辺の学生演劇団体のネットワークづくりを試みた。

◎四国学生演劇ワークショップ

① 学生のためのワークショップ「しゃべる、カラダ、躍動する、こえ」
日　程　2020 年 11 月 23 日(月・祝)　13:00～16:00
場　所　シアターねこ
講　師　高山力造（俳優・演出家）
受講料　大学生 500 円／高校生 100 円　※県外参加者無料
人　数　7 人

② 四国の学生演劇を盛り上げよう！ 演劇実践のためのワークショップ
日　程　2021 年 12 月 23 日 (水)　10:00～12:30
場　所　シアターねこ
講　師　有門正太郎（俳優・演出家・劇作家）
受講料　一般 1,000 円　※大学生以下無料・県外参加者無料
人　数　7 人

（2）四国学生演劇祭実行委員会への協力（2015～）

四国地域における学生演劇団体が交流し、互いの演劇活動を切磋琢磨する場として継続中。

◎四国学生演劇祭 vol. 5（主催事業）

四国学生演劇祭は、四国四県の学生演劇団体が集い、観客参加型で実施してきた。第５回は３団体の申込があり、１月に開催を予定していたが、新型コロナ感染症の拡大により、１団体のみの参加となり、無観客で収録配信する形に変更した。参加した「ふしこ」（愛媛大学）は、2021 年 3 月にオンライン開催された第 6 回全国学生演劇祭にエキシビション枠で出場した。JAPAN LIVE YELL project の一環で実施。

① 四国学生演劇祭実行委員会会議
日　時　毎月 1～２回程度開催
場　所　シアターねこ、オンライン（LINE,ZOOM）他

② 第５回四国学生演劇祭参加団体募集
申込締切　2020 年 11 月 6 日（金）

③ 第５回四国学生演劇祭（無観客開催・映像収録後,限定配信）
日　時　2021 年 2 月 21 日 (日) 14:00～
会　場　シアターねこ
審査員　斉藤かおる（役者・演劇講師）
　　行正忠義（劇作家・シャカカ代表）
　　山本清文（あかがねミュージアム プロジェクトマネージャー）
出場者　ふしこ（愛媛大学）

（3）日本学生演劇プラットフォーム（2019～）

2012 年から開催されている全国学生演劇祭の継続実施のために 2019 年に設立。『出会う』『育む』『広がる』をテーマに、全国の学生演劇団体の交流などを実施。BAND 及び LINE 会議（月 1,2 回）にて、札幌、名古屋、東京、京都、四国、福岡の各地域の学生演劇祭と情報を共有している。

第 6 回全国学生演劇祭：2021/3/4～8 に札幌で開催予定であったが、オンラインで開催された。

（4）松山ブンカ・ラボへの協力（2018～）

2018 年から、戸舘正史氏が松山ブンカ・ラボ ディレクターに就任し、文化活動をしている人やアートに関心のある人など、さまざまな市民が交流するプラットフォームのような場づくりを目指して、愛媛大学社会共創学部寄付講座として展開されている。当法人は一部のプログラムの開催に協力。

① まちと文化とアートの学校
2020 年 7 月～2020 年 3 月　5 回開催
会　場　シアターねこ 他
インターネットラジオ配信　ZOOM 配信

2）会務の運営

（1）第 14 回総会
2020 年 5 月 27 日を締切とした書面評決にて開催した。

（2）理事会
日時　毎月 1 回　開催　18:00-21:00
会場　シアターねこ　風のねこ他

（3）会員懇親会
新型コロナ禍のため、開催せず

（4）年末大掃除
日時　2020 年 12 月 19 日　10:00-13:00
会場　シアターねこ　他
参加者　12 名

3）その他の活動

（1）清水まちづくり協議会　文化委員会所属	鈴木理事
（2）松山市市民活動推進委員会：松山市市民参画まちづくり課	郡司島理事
（3）まつやまサポートセンター運営委員会	鈴木理事
（4）松山市文化創造支援協議会：松山市文化ことば課	鈴木理事
（5）松山市立子規記念博物館協議会	鈴木理事
（6）公益財団法人伊予銀行社会福祉基金評議員	森本代表理事
（7）シトラスリボンプロジェクト「ちょびっと 19+」共同代表	甲斐理事